

## 2010 年度 LET 関西支部春季研究大会

2010 年 5 月 15 日 (土)  
関西国際大学尼崎キャンパス

### 記念講演

太田 洋 先生 (駒沢女子大学)



小中高最大の連携と役割 - 私の経験 (失敗) と学習者の声から考える -

1960 年 東京都生まれ、2002 年 東京学芸大学大学院教育学研究科英語教育専攻修了  
東京学芸大学附属世田谷中学校を経て、駒沢女子大学人文学部国際文化学科准教授  
英語授業研究会 関東支部長



『英語授業ハンドブック』(大修館書店, 共著)  
『英語を教える 50 のポイント』(光村図書, 単著)  
『英語授業ハンドブック - 中学校編』(大修館書店, 共著)  
他多数

### ワークショップ

1 田中 武夫 先生 (山梨大学)

英語授業における教師の発問について

2 今西 竜也 先生 (京都教育大学附属京都中学校)

明日から始めるオーラル・インタープリテーション～インクの染みからの脱却～

3 氏木 道人 先生 (関西学院大学)、川崎 真理子 先生 (関西学院大学院生)

Decoding 力の再養成：リーディングのための単語認識と音声トレーニング

## 記念講演

講師：太田 洋（おおた・ひろし）

**要旨：**私は中学教師として大学教師として、数多くの失敗をしてきました。また生徒（学生）は私の授業に対していろいろなことを話してくれました。この貴重な（？）経験と私が参観してきた授業をもとに、それぞれの段階でどのような授業を行ったらいいのかをみなさんと考えてみたいと思います。

**プロフィール：**駒沢女子大学人文学部国際文化学科准教授。1960年、東京都生まれ。2002年、東京学芸大学大学院教育学研究科英語教育専攻修了。東京都の中学校、東京学芸大学附属世田谷中学校を経て、現職。英語授業研究会理事・関東支部長。著書に『英語力はどのように伸びてゆくか－中学生の英語習得過程を追う』（大修館書店・共著）、『英語授業ハンドブック－中学校編』（大修館書店・共著）、『英語を教える50のポイント』（光村図書、単著）、『コーパスからはじめる単語使いこなし英会話』（旺文社・共著）、『“英語で会話”を楽しむ中学生』（明治図書・共著）、『英語が使える中学生、新しい語彙指導のカタチ』（明治図書・共著）などがある。文部科学省検定教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』の著者でもある。

## ワークショップ1

講師：田中 武夫（たなか・たけお）

**要旨：**活力ある英語授業づくりのカギは教師の発問にあります。近著の内容を踏まえて、すぐれた発問とはどのようなものなのか、発問を作るためには教師は何を考えればよいのか、授業展開の中で発問をどのように活用すればよいのか、など英語授業における発問づくりのプロセスについて具体的に考えてみたいと思います。

**プロフィール：**山梨大学教育人間科学部准教授（博士）。主な著書に『「自己表現活動」を取り入れた英語授業』（2003、共著：大修館書店）、『英語教師のための発問テクニック：英語授業を活性化するリーディング指導』（2009、共著：大修館書店）などがある。

## ワークショップ2

講師：今西 竜也（いまにし・たつや）

**要旨：**『オーラル・インタープリテーション入門』（近江誠著）をもとにした、オーラル・インタープリテーションのワークショップです。授業で使用したワークシートも使いながら、中学校用教科書を用いて展開する授業形態をご紹介します。

**プロフィール：**京都教育大学附属京都小・中学校講師。2010年4月より、京都市立中学校に教諭として勤務予定。

## ワークショップ3

講師：氏木 道人（しき・おさと）、川崎 眞理子（かわさき・まりこ）

**要旨：**リーディング指導というと、語彙や文法や背景知識等、高次処理能力に重点が置かれ、音や文字を処理する低次処理能力、すなわちディコーディング能力は軽視されがちです。しかし流暢な読みには、速く正確なディコーディング力が不可欠です。本ワークショップでは、ディコーディング力養成の具体的な指導法としてシャドーイング、パラレル・リーディング、単語認識トレーニングについて紹介します。「なぜディコーディング力の指導が必要なのか」「どのように指導をすればよいのか」について皆様と考えたいと思います。

**プロフィール：**氏木 道人：関西学院大学理工学部准教授。英語教育（語彙、リーディング）を専門とし、リーディング力育成に関わるシャドーイングの効果について研究している。

川崎 眞理子：関西学院大学非常勤講師・関西学院大学大学院博士課程在籍。日本人英語学習者の基本的識字能力の現状と指導方法を研究中。音声インプットに始まる基礎的訓練の徹底を提案している。